

発見!町家の魅力!

北陸新幹線開業を控え、新たな観光客の増加が見込まれる金沢。金沢は戦火を逃れ歴史的な町並みが数多く残る場所である。提案するモデルはひがし茶屋街である。現在のひがし茶屋街は、年配の方が多く訪れているが、若者の姿はあまり見かけない。

そこで、現在の町家に対して興味をどのくらいもっているかを調査し、幅広い年代の観光客を誘致するため新たなイベントを考え、どれくらいの効果があるのかを考察する。

提案する催し

提案する催しは、金沢の伝統工芸である和傘をライトアップに使い、夜の町家を彩る催しを通して新たな町家の魅力を提案する、金沢和傘灯籠祭りである。古い町並みの雰囲気を生かし、和傘と灯籠で町家を照らし出す。灯籠のデザインは観光客から募集し、四季に合わせて大通りに展示して、多くの人に催しに参加してもらうきっかけとする。

検証項目

町家及び提案する催しに対する興味を調査するため、学生50人を対象にアンケート調査を行った(図1)。

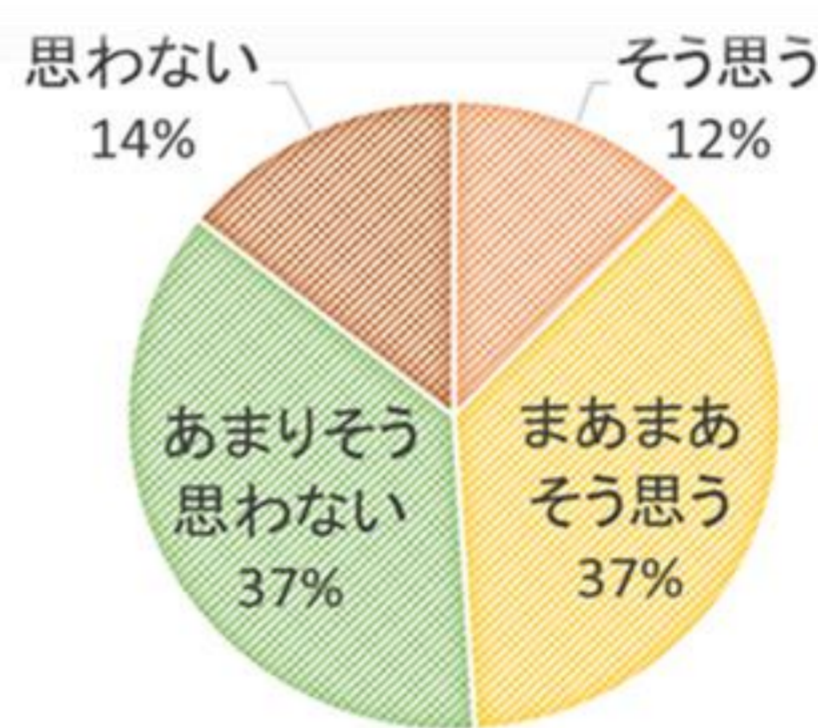
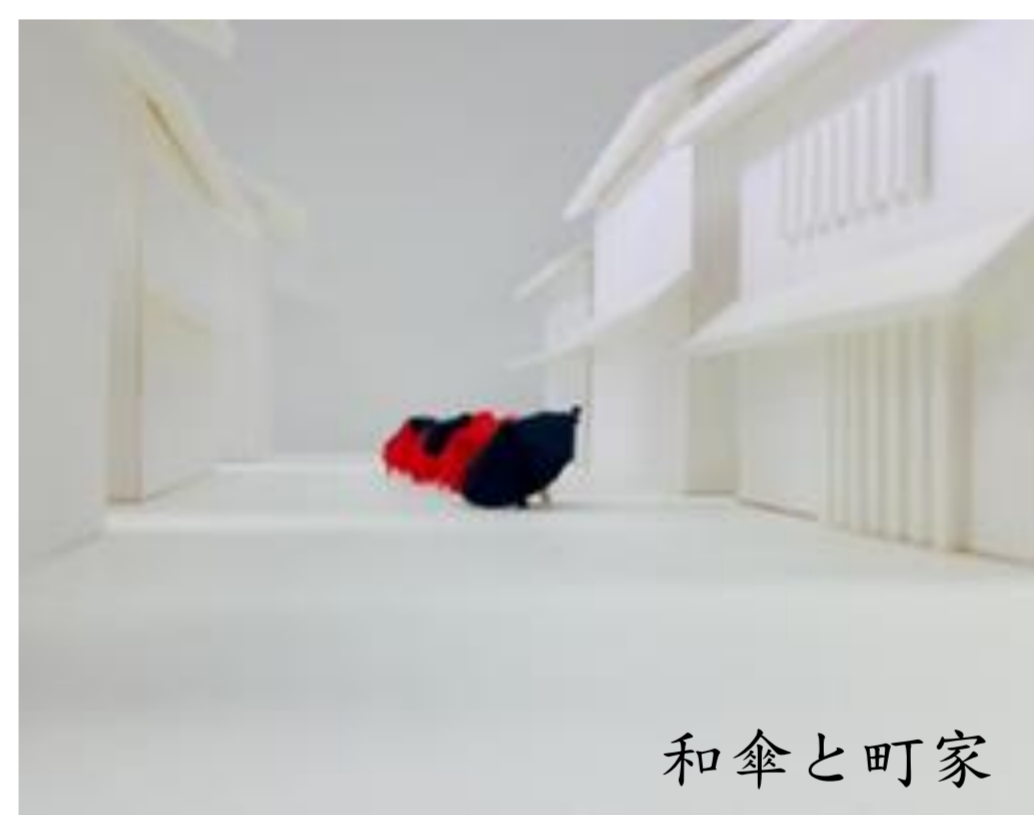
- a) 現在の町家に興味はあるか
- b) 町家のライトアップと聞いて興味を持ったか
- c) 和傘を使ったライトアップと聞いて興味を持ったか
- d) この催しに訪れたいと思うか

考察

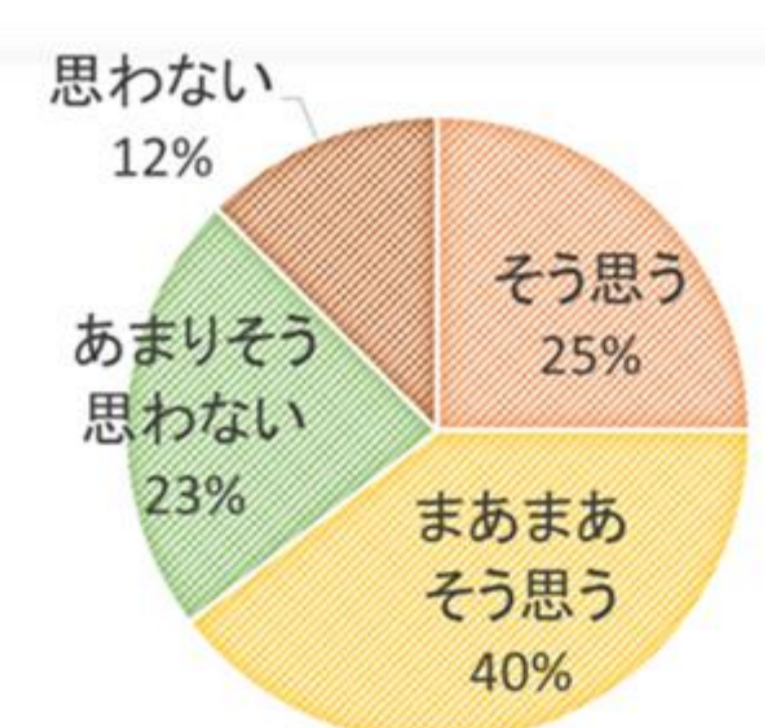
a)の質問から、現時点で50%以上の人が町家に関心がないことがわかった。アイデアの模型を見せ、催しの内容を説明した後のb)c)d)の質問では約60%~70%の人が町家で行われる催しに興味を示した。金沢の特徴を生かし、和傘を用いることにより、わずかながら興味を示した人が増えた。

まとめ

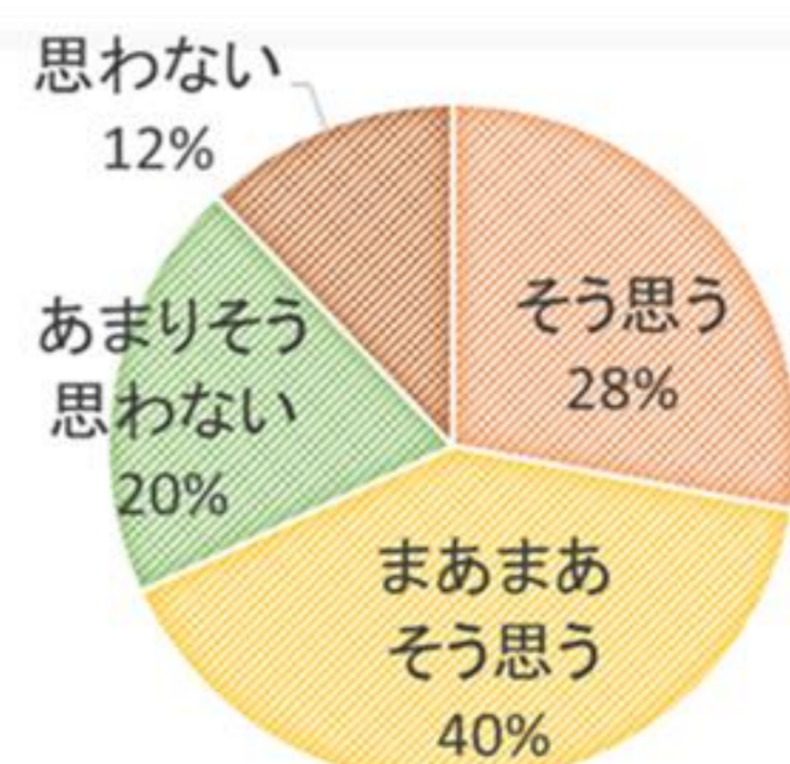
町家に興味を持たせるには、付加価値が必要であり、提案した金沢の伝統工芸を生かしたライトアップは20%以上興味を持つ人を増やす効果があった。現在見ることでできない町家の夜の風景を、和傘と灯籠で照らし出すことで、新しい町家の魅力を引き出し、町家を訪れるきっかけを確信した。



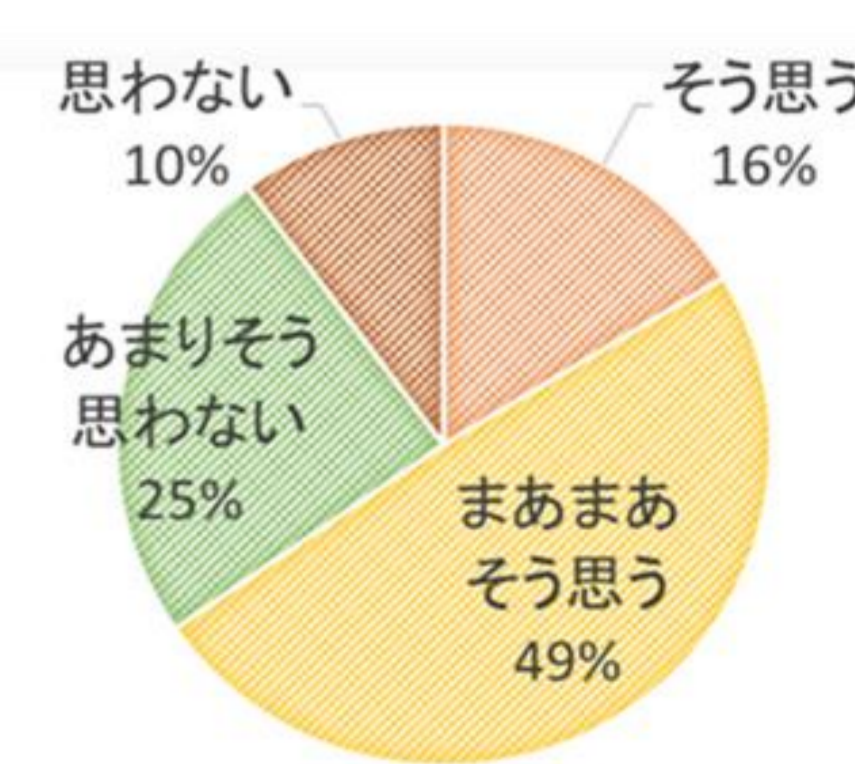
a



b



c



d

図1 アンケート集計結果

H26年度プロジェクトデザイン実践
テーマ：発見!町家の魅力!
チーム番号：VA-C7
チーム名：Oh!しんまった
メンバー：石江大地 岩下瑞希
宇野光揮 江畑一樹
大島朋也 川原昂也
担当教員：新聖子